

# 和良の郷だより

银杏号

和良おこし協議会発行



# 田んぼオーナー制度 稲刈り

## 手刈り、はさがけを体験

6月の田植えから始まった今シーズンの田んぼオーナー制度も10月10日(日曜日)に稲刈りの日を迎えました。



(笑顔で手刈りした稲を持つ参加者)

10月10日(日曜日)は曇りもなく穏やかなお天気に恵まれて、作業にはちょうどいい日となりました。多くのご家族に参加いただき、あちらこちらから笑い声が聞こえ、笑顔の溢れる日となりました。

来や悪天候によって中止となってしまう年もありましたが、田植えに続き、皆さんが楽しみにしている稲刈りなので、何とか無事にでき、うれいす。子どもさんを含めて80名ほどの参加者で稲刈りとはさがけ

田んぼオーナー制度の会員さんで希望される方は「田植え」、「草取り」、「稲刈り」の体験をしていただけます。そして11月には「収穫祭」としてお米をお持ち帰りいただけます。今年は奥美濃清流米(和良のコシヒカリ)を使ったお酒も用意します。6月の田植え、8月の草刈りに続き、最後の体験となる「稲刈り」ですが、こ

作業を進め、およそ予定通りに稲刈りと「はさがけ」を終えることができました。じつは、はさがけは体験の為に設置しているもので、体験終了後はコンバインに投入してしまいます。あっという間にモミにしてしまうコンバインの威力も見ていただけたいと思います。



(稲刈り、はさがけを楽しむ様子)



コンバインの後方から排出される藁は、子どもたちにも格好の遊び場になります。みんなでジャンプしたり、埋もれたり、藁をかけあつたりが楽しそうですが、かゆくなるよの声もそっこのけです。



(和良で藁で遊ぶ子供たち)



(収穫したさつまいも)

お昼ご飯はみんなで美味しい栗ごはんのお弁当を食べて、さて次の目的のふれあい農園での収穫体験です。この日は「さつまいも」と「さといも」を収穫します。苦勞しながら大きいさつまいもを掘ったり、途中で折れてしまいがちだったりしましたが、これもまた楽しかったです。初めての収穫体験だったので、何年振りかの収穫体験だったので、気持ちよく一日を過ごしていただけたようでした。次回は11月7日(日曜日)の収穫祭で、ファームトラスト制度にご参加の皆さんもお迎えして、今年の田んぼオーナー制度・ファームトラスト制度の締めくくるとなります。

## 知事表敬訪問

10月15日(金)、2021年度の全日本・食学会 生産者大賞「bean47」に選ばれた和良 鮎を守る会の大澤克幸代表が「日本料理 たかた八祥」の高田晴之さんと岐阜県庁を訪れ、古田県知事に「報告」しました。

この賞は、「食と食文化における新たな活動・技術・人材」の発掘と支援を目的に、これまでの活動実績をもとに推薦・決定される賞です。

県庁の応接室で古田知事は目の前に並べられた資料のなかから和良鮎のパンフレットに目を止められて、まずは「美しいね」の一言。岐阜県の世界農業遺産のお話から今後の鮎の海外戦略などのお話をされました。そして和良町で行われている鮎釣り教室に関してのお話を興味深くお聞きいただきました。最後に知事から「岐阜の代表ですから、益々の活躍を」との励ましの言葉をいただきました。



(高田さん、大澤さん、古田知事)

# 地域づくりの職場体験

10月20日(水曜日)と22日(金曜日)の2日間、郡上東中学校の生徒さんが勤労体験学習(職場体験)で和良おこし協議会を訪れてくれました。

初日の朝は生徒さんもちょうど緊張していましたが、まずは軽ミミーティングと世間話、和良おこし協議会が何をしているところなのかのお話を、ぼちぼちと緊張をほぐしながら始めました。少し緊張がほぐれたところで、10月末開催の「和良鮎まるしえ」ポスターを持って和良と近隣地域を巡ります。ガソリンスタンドや喫茶店、地域団体の施設、道の駅、診療所、飲食店など多くの場所にお邪魔しました。みなさんに歓迎してもらい、ポスター掲示に快く対応していただきました。あっという間に時間が過ぎ、夕方に現れたきれいな虹を見上げながら1日目は終了しました。

2日目は体験メニューのプランを考えてもらうことからスタートしました。どういう人どんな体験を提供したら喜んでもらえるかを自分なりに考えて、組み立ててくれました。最後にプランを発表してもらいましたが、なかなか良いものが出来たので、少し練り上げながら新しい体験メニューとして作っていきたいと思います。お昼ご飯まで少し時間があったので、薪割りを体験してもらいました。最初は斧が重くて不安そうでしたが、最後はコツをつかんで気持ちよく薪を割ってくれました。

午後は「ばんどり探検隊」の中で、「ばんどりこーる」の制作体験してもらい、その後は移住相談、空き家案内に同行してもらいました。移住相談のなかでは、和良の特長な

とを話すので、一緒に聞いてもらうことで、改めて地域の様子を確認してもらえたのではないのでしょうか。空き家案内にも何軒か同行していただき、今回の体験学習は終了となりました。和良おこし協議会には他の事業所や職場とは少し違った現場ですが、普段はあまり接点のない場所を巡ったり、地域づくりの団体がどんなことをしているのかを体験していただけたのではないのでしょうか。



(近隣地域の皆さんへのポスター掲示お願いの様子)



(薪割りの体験)



(体験メニュー作り)

# あまぎけまつり

古来より神様に春は豊作を祈願し、秋には収穫を感謝する「お祭り」文化があります。お祭りでは神様にお供える「こ神饌」があります。お米とともにお餅やお神酒などもお供えされますが、甘酒もそのひとつのようです。

和良町東野地区の白山神社でも、昔から秋には甘酒をお供えして、集落にふるまわれていたそうです。以前は氏子が甘酒を作っていたそう



ですが、現代の習慣やコロナ禍において、それも難しいです。この日は、集落の人たちが集まって傷んできた社などの補修作業をする予定でしたが、あいにくの天気でしたので片付けや落葉の処理などを行い、補修作業は春祭りまでに行われるようです。作業後は氏子が神様に収穫の感謝のお参りをし、甘酒が集落に配られました。

東野地区においても、他の集落と同じように少子高齢化によって神楽などのお祭りが維持できなくなりました。春には氏子や集落の代表が集って、神事のみが執り行われますが、お宮に向かう長い階段、ギフチョウウ、リス、鳥たちが舞う東野白山神社には沢山の魅力があります。

## イベント掲示板



市民協働センター  
出張相談会 in 和良

とき：  
11月18日(木)  
午前10時～午後3時  
ところ：わらおこし  
(下洞554)

相談員：  
市民協働センター  
興膳健太センター長

## 和良町の人口

令和3年10月1日現在 (カッコ内は前月比)

